

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、23～26℃台を示し、かなり低め～やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり0.8トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の1.3倍（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。
- イカ釣——ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり92kgの水揚げで、前週の5.4倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり5.7トンの水揚げで、前週の2.7倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり57kgの水揚げで、前週の51%（前年を上回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり492kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり115kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり218kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり570kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。
- トビウオ船曳——北松生月地区では、小トビウオ主体で1日1統当たり642kgの水揚げで、前週の3.1倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/17～9/23の7日間）沖合イカ釣り船（船凍船）は、大和堆付近で操業。赤イカは北太平洋に出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、今期も漁獲の減少傾向が続き、能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港なし。山口県特牛港で僅かに漁獲があり他は殆ど入港船がなかった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-27号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>